

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 岡山県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター	2
岡山市	総合病院岡山市立市民病院（ 想定企業会計）	3
岡山市	岡山市立せのお病院（想定企 業会計）	4
岡山市	国立病院機構岡山市立金川病 院	5
倉敷市	倉敷市立市民病院	6
玉野市	玉野市民病院	7
笠岡市	笠岡市民病院	8
井原市	井原市民病院	9
高梁市	国保成羽病院	10
備前市	備前病院	11
備前市	日生病院	12
備前市	吉永病院	13
瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	14
真庭市	真庭市国民健康保険湯原温泉 病院	15
美作市	美作市立大原病院	16
矢掛町	国保病院	17
鏡野町	国保病院	18
岡山市久米南町国民健康 保険病院組合	国保福渡病院	19

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>		都道府県名	岡山県
		市町村・組合名	
		病院名	地方独立行政法人 岡山県 精神科医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,921,525
決算規模(千円)		698,349,477
標準財政規模(千円)		415,428,307
財政力指数		0.53017
経常収支比率(%)		98.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	198.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	42,633			
1 経常収益	42,633			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	42,633			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	42,633			
2 経常費用	42,633			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	98.9
材料費	-	-	24.7	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	23.3	34.6
(うち委託料)	-	-	11.5	17.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	42,633			
(うち支払利息)	42,633	-	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.9
医業収支比率	-		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	64.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>		都道府県名	岡山県
		市町村・組合名	岡山市
		病院名	総合病院岡山市立市民病院 (想定企業会計)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		719,474
決算規模(千円)		325,774,791
標準財政規模(千円)		196,182,140
財政力指数		0.79
経常収支比率(%)		90.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	46,911			
1 経常収益	46,911			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	46,911			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	46,911			
2 経常費用	46,911			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	46,911			
(うち支払利息)	46,911	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.1

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35731.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>		都道府県名	岡山県
		市町村・組合名	岡山市
		病院名	岡山市立せのお病院(想定企業会計)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	719,474	
決算規模(千円)	325,774,791	
標準財政規模(千円)	196,182,140	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,550			
1 経常収益	22,550			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	22,550			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,550			
2 経常費用	22,550			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.1
経費	-	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	22,550			
(うち支払利息)	22,550	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35731.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	岡山県
		市町村・組合名	岡山市
		病院名	国立病院機構岡山市立金川病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,592 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	76.9	83.9	83.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	76.9	83.9	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		32.8	36.3	35.7

設立団体の状況		
人口(人)	719,474	
決算規模(千円)	325,774,791	
標準財政規模(千円)	196,182,140	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	32,129			
1 経常収益	32,129			
(1) 医業収益	698			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	698			
(うち他会計負担金)	698			
(2) 医業外収益	31,431			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	10,170			
(うち長期前受金戻入)	21,261			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	49,554			
2 経常費用	49,554			
(1) 医業費用	35,518			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	34,873	4996.1	9.0	12.9
経費	645	92.4	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,036			
(うち支払利息)	10,170	1457.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-17,425			
純損益	-17,425			
累積欠損金	249,404			
経常収支比率	64.8		97.7	96.7
医業収支比率	2.0		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	33.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	1557.0		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	33.8		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	42.9		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	735,615
1 固定資産	735,315
(1) 有形固定資産	728,664
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,651
2 流動資産	300
(1) 現金及び預金	300
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	565,105
1 固定負債	543,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	543,118
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	21,935
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,635
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	52
(1) 長期前受金	68,979
(2) 長期前受金収益化累計額( )	68,927
資本合計	170,510
1 資本金	419,892
2 剰余金	-249,382
(1) 資本剰余金	22
(2) 利益剰余金	-249,404
負債・資本合計	735,615
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,085	10,868
資本勘定繰入	10,630	21,261
計	15,715	32,129

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35731.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	倉敷市
	病院名	倉敷市立市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,117 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	22	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	198	78.0	66.5	67.5
療養	-	-	-	74.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	78.0	66.5	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	16.6	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	477,118	
決算規模(千円)	204,939,250	
標準財政規模(千円)	106,994,822	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	43.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.3
修正医業収益(千円)	3,280,145

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,708,562			
1 経常収益	3,708,431			
(1) 医業収益	3,346,170			
入院収益	2,163,672			
外来収益	875,345			
診療収入計	3,039,017			
その他医業収益	307,153			
(うち他会計負担金)	66,025			
(2) 医業外収益	362,261			
(うち国・都道府県補助金)	1,679			
(うち他会計補助・負担金)	152,021			
(うち長期前受金戻入)	45,450			
(うち資本費繰入収益)	133,998			
(3) 特別利益	131			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,748,297			
2 経常費用	3,744,235			
(1) 医業費用	3,591,820			
職員給与費	1,982,128	59.2	55.7	61.3
材料費	421,382	12.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	223,362	6.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	196,076	5.9	11.0	8.2
減価償却費	454,664	13.6	9.0	10.2
経費	726,348	21.7	23.3	30.5
(うち委託料)	368,601	11.0	11.5	13.0
研究研修費	5,885			
資産減耗費	1,413			
(2) 医業外費用	152,415			
(うち支払利息)	35,617	1.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	4,062			
損益				
経常損益	-35,804			
純損益	-39,735			
累積欠損金	3,688,485			
経常収支比率	99.0		97.7	96.5
医業収支比率	93.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	5.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	93.2		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,298,805
1 固定資産	8,556,127
(1) 有形固定資産	8,551,477
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,650
2 流動資産	742,678
(1) 現金及び預金	452,515
(2) 未収金及び未収収益	285,103
(3) 貸倒引当金( )	3,404
(4) 貯蔵品	8,464
3 繰延資産	-
負債合計	10,288,768
1 固定負債	7,898,458
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,385,151
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	699,640
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	813,667
(7) リース債務	-
2 流動負債	597,008
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	271,581
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	45,000
(5) 引当金	142,775
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	122,049
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,793,302
(1) 長期前受金	2,285,650
(2) 長期前受金収益化累計額( )	492,348
資本合計	-989,963
1 資本金	2,527,759
2 剰余金	-3,517,722
(1) 資本金剰余金	170,763
(2) 利益剰余金	-3,688,485
負債・資本合計	9,298,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	989,963
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	218,046	218,046
資本勘定繰入	228,118	322,238
計	446,164	540,284

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	玉野市
	病院名	玉野市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,895 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	61.3	60.7	59.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	61.3	60.7	59.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	14.8	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	60,736	
決算規模(千円)	23,700,087	
標準財政規模(千円)	14,805,538	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	1.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.6
修正医業収益(千円)	2,024,631

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,357,797			
1 経常収益	2,357,607			
(1) 医業収益	2,109,912			
入院収益	1,374,143			
外来収益	535,403			
診療収入計	1,909,546			
その他医業収益	200,366			
(うち他会計負担金)	85,281			
(2) 医業外収益	247,695			
(うち国・都道府県補助金)	39			
(うち他会計補助・負担金)	208,489			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	190			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,403,737			
2 経常費用	2,400,877			
(1) 医業費用	2,310,769			
職員給与費	1,486,524	70.5	55.7	61.3
材料費	262,192	12.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	166,419	7.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	95,773	4.5	11.0	8.2
減価償却費	73,829	3.5	9.0	10.2
経費	469,154	22.2	23.3	30.5
(うち委託料)	208,363	9.9	11.5	13.0
研究研修費	7,728			
資産減耗費	11,342			
(2) 医業外費用	90,108			
(うち支払利息)	2,589	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,860			
損益				
経常損益	-43,270			
純損益	-45,940			
累積欠損金	4,415,882			
経常収支比率	98.2		97.7	96.5
医業収支比率	91.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.0		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,550,540
1 固定資産	732,428
(1) 有形固定資産	722,552
(2) 無形固定資産	4,760
(3) 投資その他の資産	5,116
2 流動資産	818,112
(1) 現金及び預金	479,362
(2) 未収金及び未収収益	333,382
(3) 貸倒引当金( )	4,871
(4) 貯蔵品	10,238
3 繰延資産	-
負債合計	1,006,009
1 固定負債	686,717
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	111,471
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	539,363
(7) リース債務	35,883
2 流動負債	318,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,108
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,086
(6) リース債務	11,778
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	189,773
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	714
(1) 長期前受金	14,287
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,573
資本合計	544,531
1 資本金	4,945,313
2 剰余金	-4,400,782
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,400,782
負債・資本合計	1,550,540
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	235,770	293,770
資本勘定繰入	17,596	349,087
計	253,366	642,857

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	209.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	笠岡市
	病院名	笠岡市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	11,571 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	160	43.5	43.5	47.8
療養	34	66.7	76.9	76.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	194	47.6	49.4	52.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	15.7	21.7

設立団体の状況		
人口(人)	50,568	
決算規模(千円)	23,816,838	
標準財政規模(千円)	12,994,920	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	63.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.1
修正医業収益(千円)	1,416,575

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,779,905			
1 経常収益	1,779,286			
(1) 医業収益	1,462,306			
入院収益	970,650			
外来収益	368,934			
診療収入計	1,339,584			
その他医業収益	122,722			
(うち他会計負担金)	45,731			
(2) 医業外収益	316,980			
(うち国・都道府県補助金)	88			
(うち他会計補助・負担金)	288,232			
(うち長期前受金戻入)	2,085			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	619			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,968,125			
2 経常費用	1,960,246			
(1) 医業費用	1,885,882			
職員給与費	1,025,835	70.2	55.7	61.3
材料費	161,843	11.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	70,868	4.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,901	4.6	11.0	8.2
減価償却費	114,751	7.8	9.0	10.2
経費	578,245	39.5	23.3	30.5
(うち委託料)	308,465	21.1	11.5	13.0
研究研修費	3,162			
資産減耗費	2,046			
(2) 医業外費用	74,364			
(うち支払利息)	3,356	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	7,879			
損益				
経常損益	-180,960			
純損益	-188,220			
累積欠損金	3,973,262			
経常収支比率	90.8		97.7	96.5
医業収支比率	77.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	73.7		85.7	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,205,212
1 固定資産	973,431
(1) 有形固定資産	956,096
(2) 無形固定資産	5,335
(3) 投資その他の資産	12,000
2 流動資産	231,781
(1) 現金及び預金	23,371
(2) 未収金及び未収収益	203,486
(3) 貸倒引当金( )	2,352
(4) 貯蔵品	7,276
3 繰延資産	-
負債合計	1,283,026
1 固定負債	721,717
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	205,883
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	315,834
(7) リース債務	-
2 流動負債	520,287
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,006
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	73,080
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	280,000
(8) 未払金及び未払費用	82,206
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	41,022
(1) 長期前受金	118,311
(2) 長期前受金収益化累計額( )	77,289
資本合計	-77,814
1 資本金	3,811,227
2 剰余金	-3,889,041
(1) 資本金剰余金	84,221
(2) 利益剰余金	-3,973,262
負債・資本合計	1,205,212
不良債務	206,500
実質資金不足額	206,500
資金不足額( )	77,814
資本不足額(繰延収益控除後)( )	36,792
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	232,056	333,963
資本勘定繰入	52,721	67,521
計	284,777	401,484

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	206,500	14.1
平成30年度	178,445	12.2
平成29年度	239,756	15.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	271.7
健全化法上の資金不足額(千円)	206,500
健全化法上の資金不足比率(%)	14.1
地財法上の資金不足額(千円)	206,500
地財法上の資金不足比率(%)	14.1

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	井原市
	病院名	井原市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,444 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	65.7	74.4	72.0
療養	60	58.9	63.1	60.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	63.4	70.6	68.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	16.4	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	41,390	
決算規模(千円)	21,119,077	
標準財政規模(千円)	12,343,290	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.2
修正医業収益(千円)	1,994,920

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,532,499			
1 経常収益	2,532,499			
(1) 医業収益	2,034,608			
入院収益	1,311,200			
外来収益	544,518			
診療収入計	1,855,718			
その他医業収益	178,890			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	497,891			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	381,071			
(うち長期前受金戻入)	98,042			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,732,716			
2 経常費用	2,732,716			
(1) 医業費用	2,618,590			
職員給与費	1,711,477	84.1	55.7	61.3
材料費	254,566	12.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	115,807	5.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	108,575	5.3	11.0	8.2
減価償却費	269,503	13.2	9.0	10.2
経費	373,877	18.4	23.3	30.5
(うち委託料)	176,361	8.7	11.5	13.0
研究研修費	8,118			
資産減耗費	1,049			
(2) 医業外費用	114,126			
(うち支払利息)	39,843	2.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-200,217			
純損益	-200,217			
累積欠損金	730,856			
経常収支比率	92.7		97.7	96.5
医業収支比率	77.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	16.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.3		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,284,860
1 固定資産	2,860,045
(1) 有形固定資産	2,502,619
(2) 無形固定資産	352
(3) 投資その他の資産	357,074
2 流動資産	1,424,815
(1) 現金及び預金	722,472
(2) 未収金及び未収収益	670,717
(3) 貸倒引当金( )	122
(4) 貯蔵品	30,502
3 繰延資産	-
負債合計	4,083,526
1 固定負債	2,790,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,669,362
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	121,439
(7) リース債務	-
2 流動負債	524,647
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	307,107
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	105,565
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	104,280
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	768,078
(1) 長期前受金	2,018,292
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,250,214
資本合計	201,334
1 資本金	812,350
2 剰余金	-611,016
(1) 資本金剰余金	7,738
(2) 利益剰余金	-618,754
負債・資本合計	4,284,860
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	420,759	420,759
資本勘定繰入	170,390	170,390
計	591,149	591,149

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	高梁市
				病院名	国保成羽病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,307 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	へ	輪
診療科数	10	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	54	77.2	85.2	85.1
療養	42	39.6	40.8	41.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	60.8	65.8	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		21.7	21.9	22.8

設立団体の状況		
人口(人)	32,075	
決算規模(千円)	25,533,809	
標準財政規模(千円)	13,389,613	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	80.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.8
修正医業収益(千円)	1,141,865

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,486,763			
1 経常収益	1,486,763			
(1) 医業収益	1,176,026			
入院収益	574,087			
外来収益	484,026			
診療収入計	1,058,113			
その他医業収益	117,913			
(うち他会計負担金)	34,161			
(2) 医業外収益	310,737			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	204,797			
(うち長期前受金戻入)	37,088			
(うち資本費繰入収益)	23,935			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,532,112			
2 経常費用	1,532,112			
(1) 医業費用	1,448,613			
職員給与費	817,794	69.5	55.7	72.6
材料費	177,503	15.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	104,192	8.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	57,002	4.8	11.0	5.6
減価償却費	162,451	13.8	9.0	11.1
経費	288,830	24.6	23.3	31.9
(うち委託料)	139,835	11.9	11.5	13.0
研究研修費	1,129			
資産減耗費	906			
(2) 医業外費用	83,499			
(うち支払利息)	7,296	0.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-45,349			
純損益	-45,349			
累積欠損金	879,123			
経常収支比率	97.0		97.7	97.4
医業収支比率	81.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	16.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	81.4		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,572,295
1 固定資産	2,016,903
(1) 有形固定資産	1,947,632
(2) 無形固定資産	12,146
(3) 投資その他の資産	57,125
2 流動資産	1,555,392
(1) 現金及び預金	1,128,558
(2) 未収金及び未収収益	420,319
(3) 貸倒引当金( )	67
(4) 貯蔵品	6,582
3 繰延資産	-
負債合計	1,400,207
1 固定負債	718,780
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	675,210
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	43,570
(7) リース債務	-
2 流動負債	163,488
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,546
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,258
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,236
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	517,939
(1) 長期前受金	917,662
(2) 長期前受金収益化累計額( )	399,723
資本合計	2,172,088
1 資本金	3,029,230
2 剰余金	-857,142
(1) 資本金剰余金	21,981
(2) 利益剰余金	-879,123
負債・資本合計	3,572,295
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	279,948	238,958
資本勘定繰入	23,935	23,935
計	303,883	262,893

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	備前市
				病院名	備前病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,566 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	46	65.6	73.4	71.9
療養	44	61.5	59.4	66.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	63.6	66.6	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	19.4	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	35,179	
決算規模(千円)	22,312,265	
標準財政規模(千円)	11,693,076	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.6
修正医業収益(千円)	1,118,498

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,737,411			
1 経常収益	1,737,411			
(1) 医業収益	1,123,921			
入院収益	604,322			
外来収益	450,580			
診療収入計	1,054,902			
その他医業収益	69,019			
(うち他会計負担金)	5,423			
(2) 医業外収益	613,490			
(うち国・都道府県補助金)	981			
(うち他会計補助・負担金)	149,239			
(うち長期前受金戻入)	47,486			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,818,781			
2 経常費用	1,818,781			
(1) 医業費用	1,321,902			
職員給与費	689,243	61.3	55.7	72.6
材料費	143,862	12.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	67,677	6.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,889	5.4	11.0	5.6
減価償却費	85,332	7.6	9.0	11.1
経費	400,335	35.6	23.3	31.9
(うち委託料)	104,134	9.3	11.5	13.0
研究研修費	1,913			
資産減耗費	1,217			
(2) 医業外費用	496,879			
(うち支払利息)	36,409	3.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-81,370			
純損益	-81,370			
累積欠損金	1,711,185			
経常収支比率	95.5		97.7	97.4
医業収支比率	85.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	87.0		85.7	74.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,084,642
1 固定資産	7,187,992
(1) 有形固定資産	5,470,714
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,717,208
2 流動資産	1,896,650
(1) 現金及び預金	1,184,273
(2) 未収金及び未収収益	645,138
(3) 貸倒引当金( )	10,599
(4) 貯蔵品	77,654
3 繰延資産	-
負債合計	4,863,778
1 固定負債	3,231,355
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,125,247
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	106,108
(7) リース債務	-
2 流動負債	608,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	210,027
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	128,138
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	269,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,023,604
(1) 長期前受金	1,984,591
(2) 長期前受金収益化累計額( )	960,987
資本合計	4,220,864
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,385,800
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,470,705
負債・資本合計	9,084,642
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	146,518	154,662
資本勘定繰入	31,622	62,756
計	178,140	217,418

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	備前市
				病院名	日生病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	6,545 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	11	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	59.2	62.8	60.7
療養	52	86.0	67.9	52.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	74.3	65.7	56.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.6	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	35,179	
決算規模(千円)	22,312,265	
標準財政規模(千円)	11,693,076	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,268,825			
1 経常収益	1,268,825			
(1) 医業収益	1,109,414			
入院収益	611,911			
外来収益	434,324			
診療収入計	1,046,235			
その他医業収益	63,179			
(うち他会計負担金)	23,442			
(2) 医業外収益	159,411			
(うち国・都道府県補助金)	222			
(うち他会計補助・負担金)	119,343			
(うち長期前受金戻入)	32,477			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,213,085			
2 経常費用	1,213,085			
(1) 医業費用	1,152,557			
職員給与費	435,717	39.3	55.7	72.6
材料費	311,049	28.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	236,155	21.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,978	5.7	11.0	5.6
減価償却費	70,360	6.3	9.0	11.1
経費	334,442	30.1	23.3	31.9
(うち委託料)	61,288	5.5	11.5	13.0
研究研修費	627			
資産減耗費	362			
(2) 医業外費用	60,528			
(うち支払利息)	14,814	1.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	55,740			
純損益	55,740			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.6		97.7	97.4
医業収支比率	96.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	92.8		85.7	74.2

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,084,642
1 固定資産	7,187,992
(1) 有形固定資産	5,470,714
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,717,208
2 流動資産	1,896,650
(1) 現金及び預金	1,184,273
(2) 未収金及び未収収益	645,138
(3) 貸倒引当金( )	10,599
(4) 貯蔵品	77,654
3 繰延資産	-
負債合計	4,863,778
1 固定負債	3,231,355
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,125,247
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	106,108
(7) リース債務	-
2 流動負債	608,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	210,027
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	128,138
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	269,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,023,604
(1) 長期前受金	1,984,591
(2) 長期前受金収益化累計額( )	960,987
資本合計	4,220,864
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,385,800
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,470,705
負債・資本合計	9,084,642
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.2
修正医業収益(千円)	1,085,972

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,785	142,785
資本勘定繰入	20,964	20,964
計	163,749	163,749

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	備前市
				病院名	吉永病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,550 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	89.5	89.8	91.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	89.5	89.8	91.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.8	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	35,179	
決算規模(千円)	22,312,265	
標準財政規模(千円)	11,693,076	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,889,125			
1 経常収益	1,889,125			
(1) 医業収益	1,760,387			
入院収益	560,253			
外来収益	1,133,685			
診療収入計	1,693,938			
その他医業収益	66,449			
(うち他会計負担金)	5,297			
(2) 医業外収益	128,738			
(うち国・都道府県補助金)	850			
(うち他会計補助・負担金)	82,009			
(うち長期前受金戻入)	21,947			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,866,356			
2 経常費用	1,864,556			
(1) 医業費用	1,759,488			
職員給与費	586,889	33.3	55.7	72.6
材料費	511,439	29.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	411,988	23.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	85,212	4.8	11.0	5.6
減価償却費	68,817	3.9	9.0	11.1
経費	586,550	33.3	23.3	31.9
(うち委託料)	129,476	7.4	11.5	13.0
研究研修費	2,920			
資産減耗費	2,873			
(2) 医業外費用	105,068			
(うち支払利息)	21,678	1.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,800			
損益				
経常損益	24,569			
純損益	22,769			
累積欠損金	12,243			
経常収支比率	101.3		97.7	97.4
医業収支比率	100.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	96.6		85.7	74.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,084,642
1 固定資産	7,187,992
(1) 有形固定資産	5,470,714
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,717,208
2 流動資産	1,896,650
(1) 現金及び預金	1,184,273
(2) 未収金及び未収収益	645,138
(3) 貸倒引当金( )	10,599
(4) 貯蔵品	77,654
3 繰延資産	-
負債合計	4,863,778
1 固定負債	3,231,355
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,125,247
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	106,108
(7) リース債務	-
2 流動負債	608,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	210,027
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	128,138
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	269,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,023,604
(1) 長期前受金	1,984,591
(2) 長期前受金収益化累計額( )	960,987
資本合計	4,220,864
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,385,800
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,470,705
負債・資本合計	9,084,642
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	99.8
修正医業収益(千円)	1,755,090

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	87,306	87,306
資本勘定繰入	26,322	26,322
計	113,628	113,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	瀬戸内市
				病院名	瀬戸内市立瀬戸内市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	7,803 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	14	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	110	82.4	82.8	87.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	82.4	82.8	87.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	16.0	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	36,975	
決算規模(千円)	19,671,878	
標準財政規模(千円)	10,842,042	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	82.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	40.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.5
修正医業収益(千円)	1,466,935

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,643,297			
1 経常収益	1,643,130			
(1) 医業収益	1,506,001			
入院収益	1,055,385			
外来収益	303,167			
診療収入計	1,358,552			
その他医業収益	147,449			
(うち他会計負担金)	39,066			
(2) 医業外収益	137,129			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	114,650			
(うち長期前受金戻入)	16,500			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	167			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,773,711			
2 経常費用	1,771,695			
(1) 医業費用	1,716,174			
職員給与費	1,015,839	67.5	55.7	61.3
材料費	114,515	7.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	45,867	3.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,224	4.4	11.0	8.2
減価償却費	191,064	12.7	9.0	10.2
経費	392,122	26.0	23.3	30.5
(うち委託料)	201,439	13.4	11.5	13.0
研究研修費	2,040			
資産減耗費	594			
(2) 医業外費用	55,521			
(うち支払利息)	11,201	0.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,016			
損益				
経常損益	-128,565			
純損益	-130,414			
累積欠損金	606,796			
経常収支比率	92.7		97.7	96.5
医業収支比率	87.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	9.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	84.1		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,140,898
1 固定資産	2,985,445
(1) 有形固定資産	2,767,720
(2) 無形固定資産	29,351
(3) 投資その他の資産	188,374
2 流動資産	1,155,453
(1) 現金及び預金	915,010
(2) 未収金及び未収収益	238,523
(3) 貸倒引当金( )	1,983
(4) 貯蔵品	3,893
3 繰延資産	-
負債合計	2,983,967
1 固定負債	2,218,722
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,071,604
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	147,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	310,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,361
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,253
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	125,515
(9) 前受金及び前受収益	106
3 繰延収益	455,049
(1) 長期前受金	538,646
(2) 長期前受金収益化累計額( )	83,597
資本合計	1,156,931
1 資本金	1,763,727
2 剰余金	-606,796
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-606,796
負債・資本合計	4,140,898
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	151,017	153,716
資本勘定繰入	65,148	69,663
計	216,165	223,379

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	真庭市
				病院名	真庭市国民健康保険湯原温泉病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,830 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	へ	輪
診療科数	18	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	66.5	71.8	76.1
療養	55	60.5	68.6	70.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	63.4	70.1	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	15.9	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	46,124	
決算規模(千円)	30,910,038	
標準財政規模(千円)	19,208,132	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.8
修正医業収益(千円)	1,080,092

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,419,033			
1 経常収益	1,419,033			
(1) 医業収益	1,126,568			
入院収益	571,173			
外来収益	428,760			
診療収入計	999,933			
その他医業収益	126,635			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	292,465			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	263,190			
(うち長期前受金戻入)	20,078			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,415,821			
2 経常費用	1,415,821			
(1) 医業費用	1,352,743			
職員給与費	853,513	75.8	55.7	61.3
材料費	221,627	19.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	165,802	14.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,542	3.7	11.0	8.2
減価償却費	100,919	9.0	9.0	10.2
経費	173,800	15.4	23.3	30.5
(うち委託料)	68,726	6.1	11.5	13.0
研究研修費	1,834			
資産減耗費	1,050			
(2) 医業外費用	63,078			
(うち支払利息)	25,054	2.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	3,212			
純損益	3,212			
累積欠損金	428,831			
経常収支比率	100.2		97.7	96.5
医業収支比率	83.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	78.4		85.7	80.7

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,986,991
1 固定資産	2,565,299
(1) 有形固定資産	2,525,734
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	39,565
2 流動資産	1,421,692
(1) 現金及び預金	1,298,684
(2) 未収金及び未収収益	111,460
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	11,548
3 繰延資産	-
負債合計	1,963,766
1 固定負債	1,315,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,089,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	225,881
(7) リース債務	-
2 流動負債	192,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	100,693
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,530
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,034
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	455,777
(1) 長期前受金	475,855
(2) 長期前受金収益化累計額( )	20,078
資本合計	2,023,225
1 資本金	2,113,991
2 剰余金	-90,766
(1) 資本剰余金	33,152
(2) 利益剰余金	-123,918
負債・資本合計	3,986,991
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	302,072	309,666
資本勘定繰入	60,223	61,530
計	362,295	371,196

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	岡山県
	市町村・組合名	美作市
	病院名	美作市立大原病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,642 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 へ
診療科数	7	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	93.9	95.0	92.2
療養	40	97.3	97.6	94.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	95.6	96.3	93.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	17.2	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	27,977	
決算規模(千円)	21,795,191	
標準財政規模(千円)	13,498,556	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.5
修正医業収益(千円)	795,076

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,057,425			
1 経常収益	1,057,425			
(1) 医業収益	831,370			
入院収益	532,830			
外来収益	198,437			
診療収入計	731,267			
その他医業収益	100,103			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	226,055			
(うち国・都道府県補助金)	3,582			
(うち他会計補助・負担金)	202,963			
(うち長期前受金戻入)	13,585			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	876,289			
2 経常費用	876,289			
(1) 医業費用	832,109			
職員給与費	517,503	62.2	55.7	72.6
材料費	93,669	11.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	43,910	5.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,043	4.1	11.0	5.6
減価償却費	68,498	8.2	9.0	11.1
経費	151,983	18.3	23.3	31.9
(うち委託料)	37,126	4.5	11.5	13.0
研究研修費	185			
資産減耗費	271			
(2) 医業外費用	44,180			
(うち支払利息)	11,716	1.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	181,136			
純損益	181,136			
累積欠損金	-			
経常収支比率	120.7		97.7	97.4
医業収支比率	99.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	22.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	28.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	22.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	93.4		85.7	74.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,849,157
1 固定資産	1,765,173
(1) 有形固定資産	1,539,595
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	225,578
2 流動資産	2,083,984
(1) 現金及び預金	1,960,337
(2) 未収金及び未収収益	123,417
(3) 貸倒引当金( )	3,000
(4) 貯蔵品	3,230
3 繰延資産	-
負債合計	1,018,752
1 固定負債	736,899
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	558,577
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	178,322
(7) リース債務	-
2 流動負債	76,222
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,255
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	42,112
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	205,631
(1) 長期前受金	492,030
(2) 長期前受金収益化累計額( )	286,399
資本合計	2,830,405
1 資本金	1,363,730
2 剰余金	1,466,675
(1) 資本金剰余金	49,254
(2) 利益剰余金	1,417,421
負債・資本合計	3,849,157
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,402	239,257
資本勘定繰入	24,950	24,526
計	264,352	263,783

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	矢掛町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,875 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	57	91.9	92.4	91.3
療養	60	87.4	85.8	76.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	117	89.6	89.0	83.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	20.8	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	14,201	
決算規模(千円)	8,639,100	
標準財政規模(千円)	4,876,464	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.2
修正医業収益(千円)	1,376,467

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,643,246			
1 経常収益	1,642,672			
(1) 医業収益	1,437,267			
入院収益	1,005,118			
外来収益	326,674			
診療収入計	1,331,792			
その他医業収益	105,475			
(うち他会計負担金)	60,800			
(2) 医業外収益	205,405			
(うち国・都道府県補助金)	5,343			
(うち他会計補助・負担金)	130,200			
(うち長期前受金戻入)	13,053			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	574			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,661,883			
2 経常費用	1,661,883			
(1) 医業費用	1,577,810			
職員給与費	1,028,869	71.6	55.7	61.3
材料費	168,989	11.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	72,841	5.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,458	4.8	11.0	8.2
減価償却費	116,540	8.1	9.0	10.2
経費	256,987	17.9	23.3	30.5
(うち委託料)	107,004	7.4	11.5	13.0
研究研修費	1,863			
資産減耗費	4,562			
(2) 医業外費用	84,073			
(うち支払利息)	25,787	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-19,211			
純損益	-18,637			
累積欠損金	119,663			
経常収支比率	98.8		97.7	96.5
医業収支比率	91.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	11.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	87.4		85.7	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,908,930
1 固定資産	2,614,697
(1) 有形固定資産	1,615,399
(2) 無形固定資産	217
(3) 投資その他の資産	999,081
2 流動資産	1,294,233
(1) 現金及び預金	1,013,748
(2) 未収金及び未収収益	273,466
(3) 貸倒引当金( )	304
(4) 貯蔵品	7,212
3 繰延資産	-
負債合計	2,201,302
1 固定負債	1,748,029
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,364,487
(2) その他の企業債	535
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	380,353
(7) リース債務	2,654
2 流動負債	231,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	97,292
(2) その他の企業債	178
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,799
(6) リース債務	1,883
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	64,163
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	221,685
(1) 長期前受金	472,607
(2) 長期前受金収益化累計額( )	250,922
資本合計	1,707,628
1 資本金	1,677,091
2 剰余金	30,537
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	30,537
負債・資本合計	3,908,930
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	205,766	191,000
資本勘定繰入	90,060	61,900
計	295,826	252,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	鏡野町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,062 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	48	77.4	76.6	75.3
療養	40	62.3	76.1	76.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	70.5	76.4	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	17.9	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	12,847	
決算規模(千円)	11,502,296	
標準財政規模(千円)	6,920,148	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	80.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,377,488			
1 経常収益	1,377,488			
(1) 医業収益	1,294,649			
入院収益	523,722			
外来収益	695,355			
診療収入計	1,219,077			
その他医業収益	75,572			
(うち他会計負担金)	35,000			
(2) 医業外収益	82,839			
(うち国・都道府県補助金)	1,464			
(うち他会計補助・負担金)	5,000			
(うち長期前受金戻入)	18,676			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,398,805			
2 経常費用	1,398,805			
(1) 医業費用	1,347,310			
職員給与費	757,270	58.5	55.7	72.6
材料費	383,094	29.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	313,427	24.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,651	4.4	11.0	5.6
減価償却費	74,230	5.7	9.0	11.1
経費	129,174	10.0	23.3	31.9
(うち委託料)	76,411	5.9	11.5	13.0
研究研修費	3,339			
資産減耗費	203			
(2) 医業外費用	51,495			
(うち支払利息)	3,465	0.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-21,317			
純損益	-21,317			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.5		97.7	97.4
医業収支比率	96.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	2.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	3.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	2.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	95.6		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,652,833
1 固定資産	829,145
(1) 有形固定資産	827,747
(2) 無形固定資産	1,398
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,823,688
(1) 現金及び預金	1,631,629
(2) 未収金及び未収収益	191,955
(3) 貸倒引当金( )	3,165
(4) 貯蔵品	3,268
3 繰延資産	-
負債合計	516,847
1 固定負債	169,131
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	146,146
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,917
(7) リース債務	2,068
2 流動負債	124,298
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,683
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,782
(6) リース債務	782
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	64,051
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	223,418
(1) 長期前受金	729,844
(2) 長期前受金収益化累計額( )	506,426
資本合計	2,135,986
1 資本金	1,249,967
2 剰余金	886,019
(1) 資本金剰余金	4,301
(2) 利益剰余金	881,718
負債・資本合計	2,652,833
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.5
修正医業収益(千円)	1,259,649

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	38,882	40,000
資本勘定繰入	29,781	10,000
計	68,663	50,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	岡山県
				市町村・組合名	岡山市久米南町国民健康保険病院組合
				病院名	国保福渡病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,810 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	12	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	52	35.5	35.0	28.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	35.5	35.0	28.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	16.4	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.0
修正医業収益(千円)	512,542

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	698,134			
1 経常収益	698,134			
(1) 医業収益	620,387			
入院収益	185,668			
外来収益	314,984			
診療収入計	500,652			
その他医業収益	119,735			
(うち他会計負担金)	107,845			
(2) 医業外収益	77,747			
(うち国・都道府県補助金)	4,510			
(うち他会計補助・負担金)	65,831			
(うち長期前受金戻入)	481			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	785,034			
2 経常費用	783,033			
(1) 医業費用	754,105			
職員給与費	403,242	65.0	55.7	72.6
材料費	79,786	12.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	39,735	6.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,403	5.2	11.0	5.6
減価償却費	56,728	9.1	9.0	11.1
経費	211,539	34.1	23.3	31.9
(うち委託料)	48,177	7.8	11.5	13.0
研究研修費	847			
資産減耗費	1,963			
(2) 医業外費用	28,928			
(うち支払利息)	5,615	0.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	2,001			
損益				
経常損益	-84,899			
純損益	-86,900			
累積欠損金	199,200			
経常収支比率	89.2		97.7	97.4
医業収支比率	82.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	24.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	28.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	24.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	67.0		85.7	74.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,741,850
1 固定資産	773,569
(1) 有形固定資産	700,561
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	73,008
2 流動資産	968,281
(1) 現金及び預金	887,525
(2) 未収金及び未収収益	78,161
(3) 貸倒引当金( )	1,880
(4) 貯蔵品	4,419
3 繰延資産	-
負債合計	431,854
1 固定負債	268,545
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	268,545
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	156,984
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,865
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,415
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,477
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,325
(1) 長期前受金	24,051
(2) 長期前受金収益化累計額( )	17,726
資本合計	1,309,996
1 資本金	1,312,652
2 剰余金	-2,656
(1) 資本金剰余金	5,063
(2) 利益剰余金	-7,719
負債・資本合計	1,741,850
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	172,231	173,676
資本勘定繰入	43,852	58,969
計	216,083	232,645

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。